

令和元年度 にこにこアンケート(児童) 結果・考察

		とても	ふつう	あまり
1	あなたは、 <small>がっこう たの</small> 学校が楽しいですか。	59	35	6
2	あなたは、 <small>ともだち</small> 友達となかよくしていますか。	73	24	3
3	あなたは、学校で、友だちの話を聞いたり、自分の思ったことを伝えたりすることができます	49	44	7
4	あなたは、 <small>がっこう</small> 学校ですんで <small>がくしゅう</small> 学習していますか。	51	43	6
5	あなたは、 <small>ともだち</small> 友達にやさしくしていますか。	56	41	3
6	あなたは、たてわり活動などで、いろいろな人とかかわることが楽しいですか。	62	27	10
7	あなたは、 <small>すす</small> 進んで <small>からだ</small> 体をうごかしていますか。	55	35	10
8	あなたは、 <small>けんこう</small> 健康のことを考えて <small>かんだい</small> 食事をとっていますか。	47	43	9
9	あなたは、 <small>びょうき</small> 病気がけがをしないように <small>き</small> 気をつけて <small>せいかつ</small> 生活していますか。	57	34	9
10	あなたは、 <small>がっこうせいかつ</small> 学校生活の <small>まも</small> きまりを守ることができますか。	36	58	7
11	あなたは、ステップアップカードなどで、次の目標を立てることができるですか。	52	40	8
12	あなたは、 <small>しんぱい</small> 心配なことや困ったことがあるとき、 <small>ひと</small> おうちの人や先生、 <small>おとな</small> 周りの大人に話することができますか。	49	35	15
13	あなたは、 <small>ちいき</small> 地域のお祭りや活動などに <small>すす</small> 進んで <small>さんか</small> 参加していますか。	33	42	25
14	あなたは、 <small>ちいき</small> 地域の方とかかわる <small>がくしゅう</small> 学習が楽しいですか。	58	35	7

(%)

○確かな学力に関する設問について(設問3・4)

設問3は、今年度も9割以上の児童が「とても」「ふつう」と答えている。昨年度「とても」と答えた児童が増え、道徳科などで自分の考えを話すことを大切に取組んできている成果が見られたが、今年度も維持できている。また、高学年になるにつれ、「あまり」と答える児童は少なくなる傾向も近年見られている。低学年から、安心して話せる雰囲気づくりや話し方聞き方の具体的支援を今後も継続していくことが大切だと思われる。設問4でも、「とても」「ふつう」が9割以上を占めており、今年度は「とても」が増えている。進んで学習するために課題設定、問題解決など児童自身が考えて主体的に学習に取り組めるように授業や指導の改善を図ってきた成果が見られてきている。

○豊かな心に関する設問について(設問5・6)

設問5の「とても」が昨年度の52%に比べ、4パーセント増え、「とても」「ふつう」と答えた児童は、昨年に引き続き90%以上になる。人との関わりがうまくできている児童が多いと思われる。しかし、設問6のたてわり活動について「とても」「ふつう」と答えた児童は、昨年とほぼ変わらないが、「あまり」と答えた児童は10%と増えている。たてわり活動などの学年を超えた関わりを通して学校生活が楽しいと感じている児童も多いが、苦手と思っている児童もいる。誰もが安心して過ごせるように、今後も活動の内容を見直ししながら支援していきたい。

○健やかな体に関する設問について(設問7・8・9)

全体を通して、「とても」「ふつう」と答えている児童が多いことから、「健やかな体づくり」について、意識が高いと考えられる。しかし、体を動かしたり、食事や健康に気を付けたりすることについて、学年ごとにばらつきがあることから、どの学年でも「とても」が増えるような取組が必要と思われる。「あまり」と答えている児童もいるので、学級健康目標に応じた声掛けをするなど、休み時間の遊びだけにとどまらず、今後も「食」の学び、体育および保健指導、くすのき会議などの教育活動を充実させ、「健やかな体づくり」を推進していきたい。

○児童指導に関する設問について(設問1・2・10・11・12)

設問10では、昨年度に引き続き「とても」「ふつう」と答えた児童が90%程度いる。しかし、実際にはきまりを守れていない面も見られる。職員が今後もきまりについて共通理解し、その場での指導を心掛け、落ち着いて学校生活を送れるように指導を続けていく必要がある。設問11で「とても」と答えている児童が増加している。ステップアップカードの活用に加えて、行事や学習に対して、めあてを意識して活動できるように取り組んできた成果と考える。設問12で「とても」と答えた児童が増えてきた反面、「あまり」と答えている児童もいる。誰にとっても安心できる存在が近くにいると感じられるよう、引き続き、保護者の方や地域の方、職員と連携してきめ細かに寄り添っていくことを心掛けていきたい。

○地域連携に関わる設問について(設問13・14)

設問13について、「あまり」と答えた児童が、25%で昨年度より10%増えており、地域の活動への参加が減少してきている。しかし、設問14について、「とても」「ふつう」と答えた児童は、93%と、昨年まで同様多く、地域の方との学習に児童が主体的に取り組んでいることがわかる。生活の多様化もあると思うが、今後も学校として学校の教育活動でも地域の方とのつながりを大切にし、「ふるさと丸山台」の良さを実感できるよう、継続して連携を深めていきたい。

